



ドルカスこども園

こんな時だから こそ楽しく

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のためいろいろな行事の在り方を考え、中止になったものもたくさんある中、12月18日には、換気や消毒等を行いながらクラスずつの開催にすることで、発表会を行うことができました。保護者2名までという制限ではありましたが、子どもたちの生き生きとした様子を実際に見てもらうことができ、有意義な時を過ごすことができました。

そして、1月6日には、餅つきを行いました。杵でパタンパタンとはつけなかつたけれど、餅つき機から立ちこめる餅米の蒸される匂いや、グルグルと回っている音を聞き、出来るのワクワクしながら待ち、いつもとは違う餅つきを楽しみました。

つきあがったお餅はその場で小さく丸め、まだほんのり温かいお餅を手にし「のびる、のびる」と楽しみながらおいしくいただきました。



のび〜る！

食後は色粉を混ぜて木につけていき、柳餅を作りました。園内にしばらく飾り、親子での会話や目で見ると感じたいと思います。

まだまだこれから感染対策が続いていくと思いますが、できる範囲で、いろいろな経験をさせてあげたいと思います。

子育て支援センター

12月4日
(金)

親子でAED講習

日本赤十字社の方を招いて乳児を対象に、人形を使っての胸骨圧迫・人工呼吸そしてAEDの講習を実施し、親子で命の大切さを学びました。

お話を真剣な表情で静かに聞いていた子、自ら人形に手を当ててトントンと胸骨圧迫の実践を真似ていた子ども、一人ひとりが保護者の方と一緒に、一生懸命活動に取り組んでいる様子が見られました。

コロナ禍で例年のように行事を行うことが



だいじょうぶ？ 2020 12 04



2020 12 04

困難になっている中、保護者の方たちと一緒に学ぶことができたことに感謝するとともに、非常に勉強になる貴重な一時間となりました。また、これまで以上に正しい知識を認識し、私たちにできることは何かを改めて考えることができました。

社会福祉法人 浩福会

桃の木・桃の花

餅つき大会

12月28日
(月)

1月1日
(祝)

お屠蘇の会



社会福祉法人 浩福会では年末恒例の餅つき大会を規模を大幅に縮小して、ディスプレイス桃の花で行いました。

また、元旦にはグループホーム桃の木で、一年中の邪気を払い無病長寿を祈るお屠蘇の会が行われました。

昨年は「新型コロナウイルス」の感染拡大で大勢の人が集う行事ができず、とても残念な一年でした。

まだまだ終息が見えない中『新しい生活様式』を工夫し、実践して前向きに事業を継続しつつ、一日も早く元の明るく楽しい日常が戻るよう祈っています。

本年もよろしく願っています。

